

# はじめに

「アユがもどってきたあ！」「大和川もきれいになったのだ！」と子どもたちの歓声がひびいています。

旧版の副読本「わたしたちの大和川」を各学校に配布した2000年ごろ、大和川の水質は全国一級河川水系の中でワースト・ワンヤツウーでした。

なぜ大和川は、よごれたのだろう。どうしたらきれいになるのだろう。

大和川は、どこから流れてきてわたしたちの生活と、どうかかわってきているのだろうか。

大和川はつけかえられたって聞いたけれど、いつ、だれが、どんな方法でやったのだろう。

これらの疑問に、副読本「わたしたちの大和川」はこたえてきました。だが15年たってデータも変わり、子どもや地域の人々の取組みも活発になって、学ぶ内容も変えなくてはなりません。そのため「新版」を刊行しました。

「水の旅人」という映画に、次のようなセリフがあります。

「子どもはなぜ背が低いせひくか知っておるか」

「う、うーん」

「それはな、大地にちこ近うて、自然の音がよく聞こえるようにじゃ。そして自然と交わした約束をどれだけ守っておるか、それがためされるため大人おとなになって、大きくなって、地面からどんどんはな離れていくのじゃ。だからのお、子どものうちに、よく聞いておくのじゃ。大地の歌」

あなたも、この本を手がかりにして、大和川の声を聞いて下さい。そして、どんな約束をしたかを、みんなで話し合ってみましょう。